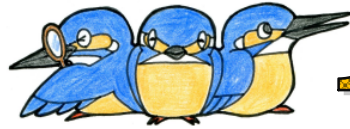


カワセニ通信



No.58
1月

発行：彩湖自然学習センター

発行日 H27.1.8

～ 新年明けましておめでとうございます～

日頃より彩湖自然学習センターの活動に対し、皆様のご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。本年も皆様のための学習センターとして活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学習センター周辺にはミニ彩湖などのビオトープやヨシ原があり、自然を身近に感じる場として、1年を通して市民の皆様や児童生徒に利用されています。館内入口のエレベーター前には季節の観察ポイントを「ミニ彩湖見ごろマップ」で紹介しています。冬の日を野鳥や野草の観察で過ごしてみたいはいかがでしょう。



学習センターでは、今年も自然の豊かさを感ぜられる講座を計画してまいります。大勢の参加をお待ちしております（N）。

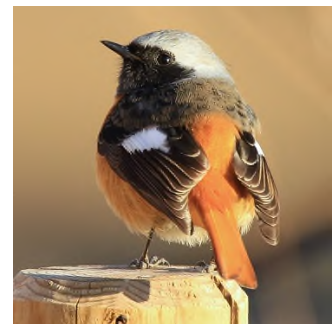
季節の生き物

ジョウビタキ（尉鷓 スズメ目ツグミ科）

冬の公園を散歩していると、「ヒッヒッヒッ」と甲高い声が聞こえることはありませんか？それはきっとジョウビタキの声です。冬に日本にやってくる冬鳥で、大きさはスズメと同じくらい。胸から腹の鮮やかなオレンジ色と羽の白い紋が特徴の鳥です（メスはやや地味）。オスもメスも一羽でいることが多く、枝先で「ヒッヒッヒッ カッカッ」と縄張り宣言をしています。このときの尾を振りながらお辞儀のように頭を下げる仕草がとてもかわいいです。

オレンジ色のきれいな鳥ですが、名前の由来はやや地味で、ジョウビタキのジョウ（=尉）は実はお爺さんの意味。灰色の頭が白髪のお爺さんに見えたのでしょうか。「ビタキ」は「火焚き」から。鳴き声が火打ち石（火焚きを使う）を打つ音に似ていることからこの名がついたそうです。「火打ちのような鳴き声のお爺さんみたいな鳥」といった意味でしょうか。おもしろい名前ですね。

ジョウビタキは明るい開けた場所を好むので、比較的見つけやすい鳥です。鳴き声がしたら探してみてくださいね（A）。



虫や木、草の実を食べます（写真はオス）

講座案内 (2月) 冬の講座は防寒対策を万全にしてください。

2月15日(日) **野鳥観察会** 雨天実施

「彩湖周辺の野鳥：晩冬」

今年度最後の野鳥観察会です。北へ戻る準備を始めた冬鳥たちを観察する、今年最後のチャンスでもあります。水辺で水鳥のオスの求愛行動が観察できるかもしれません。どなたでもお申し込みいただける観察会です。ご参加お待ちしております。

対象：一般・親子・小中学生(小学校3年生以下は保護者同伴)

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：双眼鏡(貸出可)

参加費：100円(保険代)



2月21日(土) **親子ふれあい教室** 雨天実施

「竹を使ったものづくり」

道満でとれた竹で竹細工に挑戦しましょう！道具の使い方を練習しながら、思い思いの作品をつくります。コップ、貯金箱、おもちゃなど、1本の竹からいろいろな作品が出来ますよ。

対象：小学生以上の親子

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：軍手、作品を持ち帰る

参加費：100円(保険代)



申込方法

彩湖自然学習センターへ電話にてお申し込みください。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。 :048-422-9991 (10:00～16:30)

なお、申込みは講座の1か月前から受け付けています。

詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)をご覧ください。